

## NTT西日本 環境報告書2002 データシート

		単位	1998実績 (推定値)	1999実績	2000実績	2001実績		
紙資源削減対策	電話帳	純正バルブ使用量	万 t	3.6	3.7	3.1	2.5	
		古紙使用率	%	48	48	60.3	61.4	
		紙使用量	万 t	7.1	7.2	7.8	6.6	
		回収量	万 t	3.3	3.3	3.3	3.3	
	電報台紙	純正バルブ使用量	t	530	352	302	275	
	事務用紙	純正バルブ使用量	t	534	672	311	17	
	温暖化防止対策	電力	CO <sub>2</sub> 排出量	万 t-c	14.9	15.2	15.6	16.3
			購入量	億 kWh	15.5	15.1	15.5	16.2
			CGSによる発電量	億 kWh	-	0.12	0.18	0.21
			設備導入台数	台	25	31	37	42
クリーンエネルギーシステム		(内訳) 太陽光発電	台	25	31	36	40	
		燃料電池	台	0	0	1	2	
		発電量	万 kWh	-	41.6	56	190	
		CO <sub>2</sub> 排出量	万 t-c	0.38	0.39	0.36	0.30	
社用車		低公害車所有台数	台	64	80	95	105	
		(内訳) 電気自動車	台	23	15	12	3	
	天然ガス車	台	25	29	37	56		
	ハイブリッド車	台	16	36	46	46		
燃料	CO <sub>2</sub> 排出量	万 t-c	0.78	0.70	0.64	0.70		
産業廃棄物の最終総廃棄量	通信設備	廃棄量	万 t	1.3	1.3	1.1	1.0	
		排出総量	万 t	14.3	14.2	13.3	14.3	
		リサイクル量	万 t	13.0	12.9	12.2	13.3	
		(内訳) 通信ケーブル	万 t	6.1	5.9	5.9	3.2	
		交換装置類	万 t	1.9	1.8	1.5	0.7	
		コンクリート電柱	万 t	4.9	5.1	4.4	9.0	
		その他	万 t	0.1	0.1	0.4	0.4	
		廃棄バッテリー廃棄量(特別管理産業廃棄物)	t	892	1153	571	924	
		廃棄バッテリー排出量	t	4462	5766	2855	4621	
		廃棄バッテリーリサイクル量	t	3570	4613	2284	3697	
資源リサイクル管理	土木工事廃棄物	廃棄量	万 t	1.2	3.2	2.5	1.4	
		発生量	万 t	3.9	6.6	7.6	5.6	
		リサイクル量	万 t	2.7	3.4	5.1	4.2	
		リサイクル率	%	69	52	67	74	
	建築工事廃棄物	廃棄量	万 t	3.5	1.9	1.9	2.0	
		発生量	万 t	9.0	6.4	15.0	17.8	
		リサイクル量	万 t	5.5	4.5	13.1	15.8	
		リサイクル率	%	61	70	88	89	
	オフィス	産業廃棄物廃棄量	万 t	0.26	0.25	0.44	0.35	
		一般廃棄物廃棄量	万 t	-	0.33	0.74	0.77	
医療	医療廃棄物廃棄量	t	1060	1100	1116	1451		
	[再掲] 感染性廃棄物廃棄量(特別管理産業廃棄物)	t	208	199	148	281		
資源リサイクル管理	通信設備	撤去設備(プラスチック)のリバレット化量	t	215	252	240	207	
		光ケーブルのリサイクル量	t	47	146	125	208	
	土木工事発生土	発生量	万 t	17.9	38.1	38.9	30.7	
		リサイクル量	万 t	2.6	8.4	8.2	8.9	
		リサイクル率	%	14.3	22	21	29	
	建築工事発生土	発生量	万 t	1.2	2.2	0.12	0.48	
		リサイクル量	万 t	0.9	1.8	0.12	0.48	
	小型二次電池(注)	回収量	万個	5.3	6.8	18	15	
		回収率	%	28	33	31.4	71.1	
	梱包材	商品の発泡スチロール使用量	t	18.0	14.7	13	12	
廃適正物処理管理	アスベスト	建築アスベスト残数量	万 m <sup>3</sup>	3.7	1.5	0	0	
		橋梁アスベスト残数量	t	367	181	51	11	
	フロン	特定フロン使用空調機残存台数	台	2	0	0	0	
施管理状況		ISO14001認証取得事業所数	事業所	1	4	10	14	
		環境クリーン作戦延べ参加人数	人	15500	31500	20700	13200	

行動計画目標単位での実績値

### 純正バルブ総使用量

1998年実績 (推定値)	38万t
1999年実績	38万t
2000年実績	32万t
2001年実績	2.5万t

### CO<sub>2</sub>排出量

1998年実績 (推定値)	16.1万t-c
1999年実績	16.3万t-c
2000年実績	16.6万t-c
2001年実績	17.3万t-c

### 産業廃棄物の最終総廃棄量

1998年実績 (推定値)	63万t-c
1999年実績	67万t-c
2000年実績	5.9万t-c
2001年実績	48万t-c

1998年度実績(推定値)  
1998年度は再編成が行われる前のNTT1社体制時であるため、西日本エリアの推定値を算出しています。  
(注 2000年度までは、ニカド電池のみの実績)